

[交付先]

番号	団体名 (カナ)	市町	申請内容	助成金額 (千円)
	行事名	団体設立	概要	
1	牛久保八幡社氏子 (ウシクボハチマンシャウジコ) 行事名：牛久保の若葉祭 (愛知県指定無形民俗文化財)	豊川市 1952年	・牛久保小学校での承継事業で小学生が使用する笹踊り太鼓6個の購入費用 東三河地方の古い山車の要素を残している祭事。地元の4組が保有する山車総勢5台が町を練り、祭事や芸能を行う。平成22年度より牛久保小学校にて継承事業を実施している。	900
2	子ども奴道中保存会 (コドモヤッコドウチュウ) 行事名：子ども奴道中	知立市 1928年	・子どもの衣装や道具の購入費用（毎年の催事でないため、経年劣化が激しく新調する必要がある） 江戸時代の参勤交代にちなみ、子供が奴、侍、お殿様などに扮し行列になって練り歩く。平成22年に中断したが、知立市の祭礼行事のユネスコ無形文化遺産への登録を記念したイベントの中で復活する（11/12開催予定）。	500
3	稲荷神社神楽保存会 (イナリジンジャカグラ) 行事名：稲荷神社例大祭、宮神楽	東浦町 1996年	・締め太鼓5個、神楽笛10本の購入費用（劣化が著しく楽器数が不足している） 稲荷神社の宮神楽は、熱田神宮の里神楽の流れを汲む、宮流を継承している。秋の祭礼や元旦祭などで神子と神楽を奉納する。現在、楽器の劣化損傷が激しく、不足している。	750
4	打越みこまい保存会 (ウチコシミコマイ) 行事名：春・秋の大祭	みよし市 1965年	・巫女舞の衣装の購入費用（老朽化が著しいため） 春と秋の大祭で、「浦安の舞」「豊栄の舞」を奉納（巫女舞）している。昭和40年より、毎年地元の小学生を募り、保存会で指導をしている。	350
5	三好上山車保存会 (ミヨシカミダン) 行事名：秋の例大祭	みよし市 1970年	・小太鼓2個の修理費用 ・三味線1本と小太鼓2個の購入費用 三好八幡社の例大祭にて、山車の曳き回し奉納、お囃子を行う。お囃子は小中学生が行うが、楽器の傷みが激しい。	350
6	砂子組白山車保存会 (スナコグミハクサンシャ) 行事名：祭礼の御囃子	半田市 1970年	・女子参加のための楽器購入費用 ・女子参加のための祭礼衣装購入費用 11曲目の御囃子。大太鼓、締め太鼓、笛（能管、直巻間尺笛）、鼓を使用する。後継者育成に力を入れており、かつて女人禁制だったが、地元の方の要望により最近新しく小中学生の女子が18名入った為、楽器や衣装が不足している。	1,000
7	愛知・半田・板山万歳保存会 (アイチ・ハンダ・イタヤママンザイ) 行事名：板山万歳	半田市 1998年	・子供会員への衣裝修繕費 太夫、才蔵と呼ばれる二人の演者による万歳（三演目）。神社仏閣の行事以外にも、学校行事や社会福祉関係などでも公演を行っている。子ども会員増加による衣装の不足や劣化が激しい。	500
8	岡田二区中組山車まつり保存会 (オカダニクナカグミダシマツリ) 行事名：岡田春まつり	知多市 1993年	・山車に乗せるからくり人形（尾弥間）の修繕費用 岡田地区の3組（里組、中組、奥組）の山車曳き回し、からくり人形の奉納。小～高校生を対象とした後継者育成で使用する木偶頭部の劣化が激しい。	500
				4,850